

シシャモの河川遡上予測について

北海道立総合研究機構
栽培水産試験場

シシャモの河川遡上期について下記のとおり予測を行いました。終漁日決定等の際に参考にいただければ幸いです。

道南太平洋海域のシシャモは産卵期になると、雌の卵巣重量が体重の1/5～1/4に達すると河川へ遡上を開始することが知られています。また例年予測遡上開始日から数えて2～8日後に河川でのふくべ網調査（さけます・内水面水試）による捕獲ピークがみられています。これらの知見から、水産試験場では平成26年以降、生殖腺重量指数（GSI：卵巣重量÷体重×100）が22に達すると推定される日を遡上開始日、その2～8日後を遡上盛期として予測しています。

平成28年10月7日から10月28日にかけて鶴川沖、日高富浜沖で漁獲されたシシャモ雌（鶴川8回、富浜4回、計1,035尾）の成熟度調査を実施しました。GSIの上昇速度が安定した10月14日以降のデータを用いた結果、GSIが22に達するのは11月3日と推定されました。従って、**遡上開始日は11月3日ころ、遡上盛期は11月5日～11月11日ころ**と予測されます（図）。

例年GSIの異なる複数の群れが海域に混在しており、今年も同様であると考えられるため、各群の資源量と遡上時期次第では遡上盛期にズレが生じることも予想されます。しかし、資源の維持安定のために遡上する産卵親魚を確保するという観点から、**鶴川親魚遡上調査（さけます・内水面水産試験場）の結果**も考慮しつつ、終漁日の決定について総合的な判断をお願いいたします。

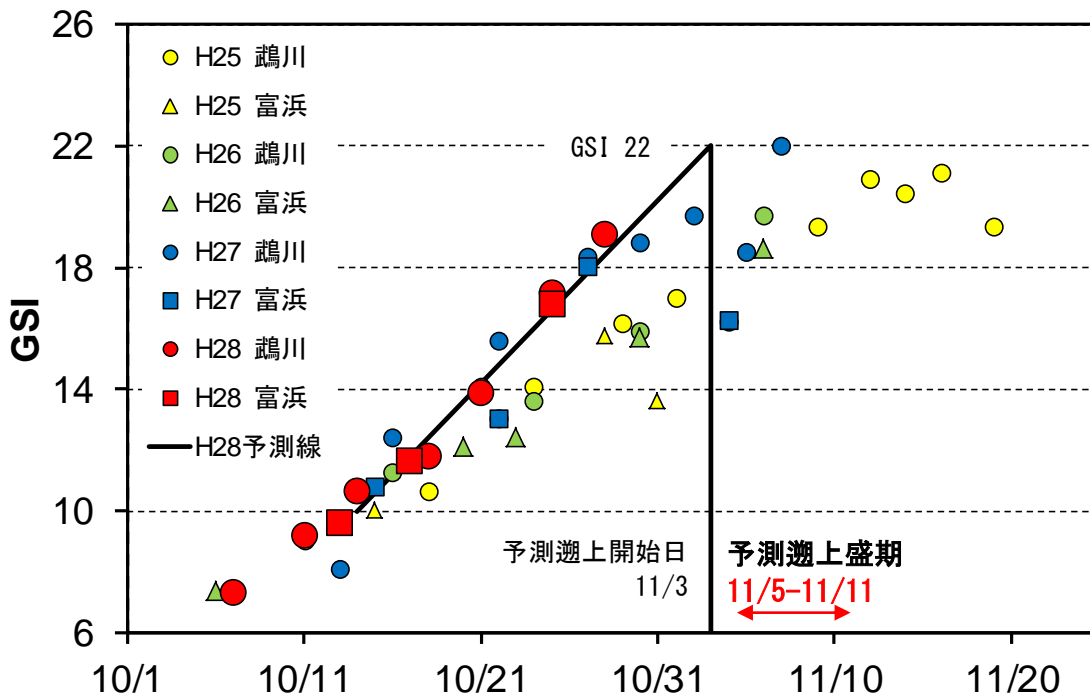


図 生殖腺重量指数の変化から予測したシシャモの遡上盛期

連絡先 0143-22-2327
調査研究部 管理増殖グループ